



データベースバージョンのサポートと設定の概要

SnapManager Oracle

NetApp
November 04, 2025

目次

データベースバージョンのサポートと設定の概要	1
一般的なレイアウトと構成	1
データベースボリュームのレイアウト例	2
シングルインスタンスデータベース	2

データベースバージョンのサポートと設定の概要

SnapManager でサポートされるデータベースのバージョンと設定を確認しておく必要があります。基本的なデータベースレイアウトと設定のセットアップを実行して、処理を正常に実行する必要があります。

SnapManager for Oracle は、Oracle バージョン 10gR2 (10.2.0.5)、11gR1、11gR2 (11.2.0.1 および 11.2.0.2)、および 12_c_ と統合され、Recovery Manager (RMAN) などのネイティブの Oracle テクノロジ、およびファイバチャネル (FC) および Internet Small Computer System Interface (iSCSI) プロトコルを使用します。



SnapManager 3.2 および 10g R2 (10.2.0.5 より前) では、Oracle データベース 9i は SnapManager 3.3.1 ではサポートされません。

SnapManager for Oracle で管理する Oracle データベースを導入する場合は、_ SnapManager for Oracle Best Practices _ を参照してください。

"SnapManager for Oracle のベストプラクティス : media.netapp.com/documents/tr-3761.pdf"

一般的なレイアウトと構成

ディスクグループ、ファイルタイプ、表領域に関する問題を回避するために、推奨される一般的なデータベースレイアウトおよびストレージ構成に関する情報を参照できます。

- 複数のタイプの SAN ファイルシステムのファイルをデータベースに含めないでください。

データベースを構成するすべてのファイルは、同じタイプのファイルシステム上に存在している必要があります。

- SnapManager には 4K ブロックのサイズが複数必要です。
- SnapManager バックアップを Oracle Recovery Manager (RMAN) に登録する場合は、RMAN 対応プロファイルを作成する必要があります。

ボリュームを分離する際のいくつかのガイドラインを次に示します。

- ボリュームに格納できるのは、1つのデータベースのデータファイルだけです。
- データベースバイナリ、データファイル、オンライン REDO ログファイル、アーカイブ REDO ログファイル、および制御ファイルという分類のファイルごとに、別々のボリュームを使用する必要があります。
- SnapManager では一時データベースファイルがバックアップされないため、一時データベースファイル用に別のボリュームを作成する必要はありません。

詳細については、_ SnapManager for Oracle Best Practices _ を参照してください。

- 関連情報 *

"SnapManager for Oracle のベストプラクティス : media.netapp.com/documents/tr-3761.pdf"

データベースボリュームのレイアウト例

データベースの設定方法については、サンプルのデータベースボリュームレイアウトを参照してください。

シングルインスタンスデータベース

ファイルの種類	ボリューム名	ファイルタイプ専用ボリューム	自動 Snapshot コピー
Oracle バイナリ	orabin_host 名	はい。	オン
データ・ファイル	oradata_sid	はい。	オフ
一時データファイル	または 'p_sid を使用します	はい。	オフ
制御ファイル	oracntrl01_sid (多重化) oracntrl02_sid (多重化)	はい。	オフ
REDO ログ	oralog01_sid (多重化) oralog02_sid (多重化)	はい。	オフ
ログのアーカイブ	oraarch_sid	はい。	オフ

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。